

## 試料調製課に人事院総裁賞

地質標本館試料調製課が今期(第13回)の人事院総裁賞(職域部門)に選ばれ, その授与式が2000年11月29日に東京・明治記念館で行われました。

人事院総裁賞は, 国民全体の奉仕者としての強い自覚の下に職務に精励し, 公務及び公務員の役割についての理解と, 公務に対する信頼を高めることに大きく寄与した職員または職域を顕彰するものです。今回は2個人・3職域が受賞しました。

試料調製課の受賞理由は「岩石試料の製作は, 地質の解明に不可欠で, しかも極めて熟練した技術が必要である。試料調製課で製作された岩石試料は, 災害発生のメカニズムの迅速な解明に寄与するなど, 我が国の地球科学研究の推進及び災害対策に多大な貢献をし, もって公務の信頼の確保と向上に寄与した」となっています。地質調査所の120年に及ぶ歴史の中で, 岩石試料の作成部門は, その所属と名称の変遷はあっても, 一貫して地質

の研究を支え続けてきました。その間, 薄片作成に従事した職員の不断の努力と創意工夫は今日まで脈々と受け継がれ, 今やその技術が世界一の水準にあることは疑いのない事実です。

授与式には, 職域の諸先輩・同僚を代表して, 野神貴嗣課長が夫人同伴で臨みました。賞状の授与, 受賞者のスピーチ, 昼食を挟んでの懇談会など明治記念館での一連の行事の後, 場所を皇居に移して天皇皇后両陛下に拝謁しました。野神課長によれば, ただただ緊張のしっぱなしの中にも, これまで自分たちを育ててくれた先人の顔が走馬燈のように去来し, 伝統の重みを改めて噛みしめていたとのことでした。

人事院総裁賞の地質調査所からの受賞は初めてのことで, このような地道な研鑽と技術が広く認められたことは, 均しく全所員の喜びであり誇りとするところです。

(地質標本館)



写真1 中島忠能人事院総裁より賞状を受ける野神課長。



写真2 地質標本館試料調製課の現職員。